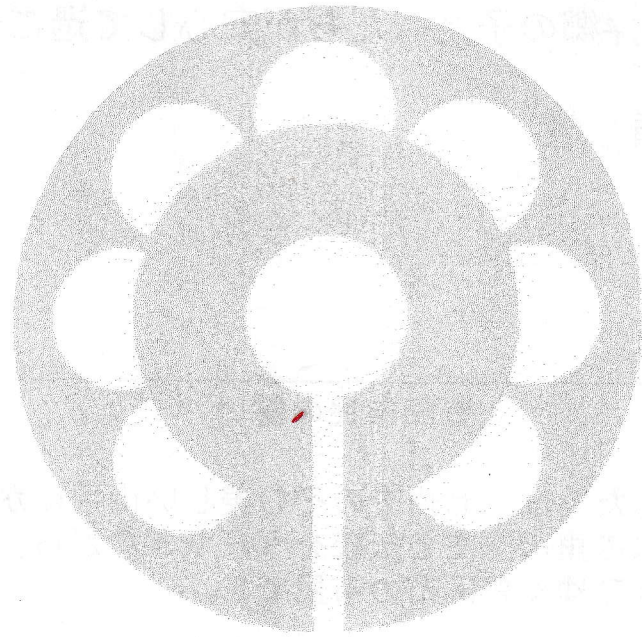


令和8年度
第76回 社会を明るくする運動
井郷地区大会



と き：令和8年 7月 5日（日）
ところ：豊田市井郷交流館 2階 大会議室

主催：井郷地区コミュニティ会議 青少年育成委員会

次 第

開 会

豊田市民の誓い

- 1 主催者あいさつ
- 2 来賓あいさつ
- 3 井郷地区における「社会を明るくする運動」

(1) 「更生保護」の制度と市民の役割について

(2) 井郷の子どもたちが安心して過ごせる地域づくり

- 4 連絡事項 他

閉 会

豊田市民の誓い

わたくしたちは、七州をのぞむ美しい山河にかこまれ
輝かしい衣の里の歴史と伝統をうけつぎながら、明日に
向かって延びゆく豊田市の市民です。

1, 緑をはぐくみ、川を大切にして
豊かな自然を愛しましょう。

1, スポーツに親しみ、教養を高めて
文化の向上に努めましょう。

1, 元気で働き、若い力を育てて
幸せな家庭を築きましょう。

1, 互いに助け合い、心の輪を広げて
あたたかい町を作りましょう。

1, いのちを尊び、きまりを守って
住みよい社会をつくりましょう。

第76回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪や非行の防止と立ち直りについての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、今年で76回目を迎えました。

社会の中で犯罪や非行から立ち直ろうとする人を支援する「更生保護」は、まさに安全・安心な社会の基盤となる取組です。この更生保護を支えているのが、「保護司」をはじめとする更生保護ボランティアであり、過去の過ちから立ち直ろうとする人々に寄り添い、再出発を助けています。

我が国の更生保護の取組は、海外でも高く評価されており、令和7年12月に採択された「再犯防止に関する国連準則」でも、推奨される取組の一例として、保護司(hogoshi)が紹介されています。しかし、国内において、その取組は必ずしも身近な存在として認識されていないのが現状です。

そこで、第76回運動では、「『保護司』をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」という統一テーマを掲げ、より一体的に運動を展開することとしました。

政府といたしましては、本運動への賛同を示す“幸福(しあわせ)の黄色い羽根”のもと、更生保護が「あたりまえ」に知られる存在となり、立ち直りの支援の輪が更に広がるよう取り組んでまいります。

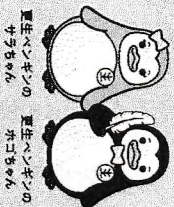
国民の皆様には、ぜひ更生保護の取組や意義に関心をお寄せください。そして、安全・安心な社会の実現のため、それぞれの立場でできることに思いを馳せ、一歩踏み出していただけますと幸いです。あなたの一歩が、社会を支える力になります。

内閣総理大臣

高市早苗

“社会を明るくする運動”とは

すべての国民が、犯罪や非行の防止と
犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、
それぞれの立場において力を合わせ、
新たな被害者も加害者も生まない
安全で安心な明るい地域社会を
築くための全国的な活動です。



第76回“社会を明るくする運動”の統一テーマ

「保護司」をはじめとする

更生保護ボランティアを広く知ってもらおう

ウェブサイトや各種SNSで情報を発信しています。

ウェブサイトで知る

社会を
明るくする運動
ウェブサイト



法務省保護局
ホームページ



SNSで知る

法務省保護局
公式X
アカウント



法務省保護局
公式Instagram
アカウント



法務省
公式YouTube
チャンネル



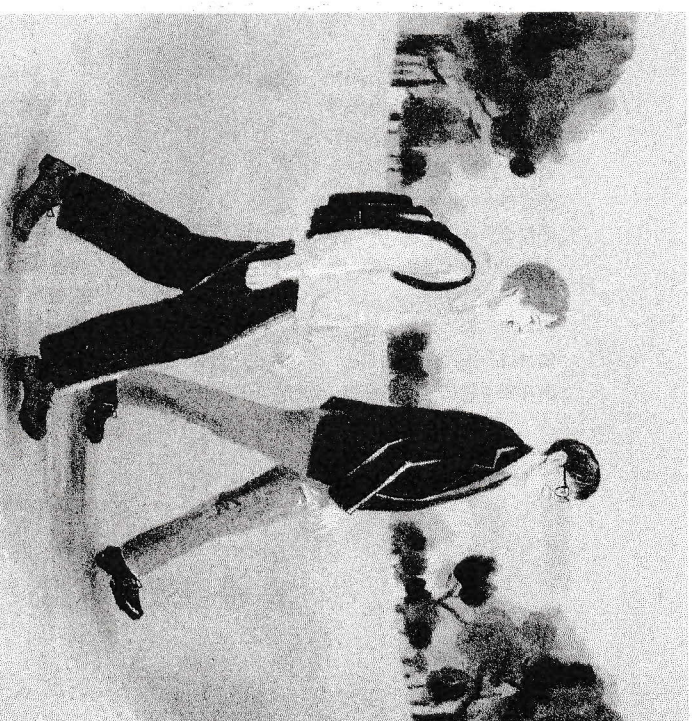
保護司になるなんて、 思ってもみなかった。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第76回 社会を明るくする運動

主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE

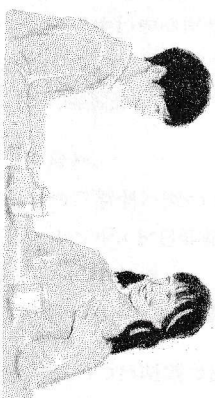


犯罪や過ちから立ち直ろうとする人に寄り添い、
地域で支え続けている
「保護司」というボランティアがあります。
大変そう、むずかしいそう。そんなイメージを
持たれがちですが、実はさまざまな年齢や経歴の人が、
全国で保護司として活動しています。
第76回「社会を明るくする運動」では、
保護司をはじめとする
更生保護ボランティアの存在を知っていただき、
皆さんとともに安全で安心な社会について
考えていきます。

まずは、更生保護ボランティアのことを
知るところから。そして、あなたにもできること、
あなただからこそできる支援へ、
一歩踏み出してみませんか。

身近なところに立ち直りを 支援する方法があります

更生保護ボランティアについてより詳しく知りたい方は、
裏面に掲載のウェブサイトをご覧ください。



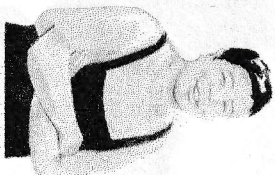
● 保護司
立ち直りを一番近くで見守る

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアであり、非常勤の国家公務員です。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じて助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。全国に約4万5000人います。



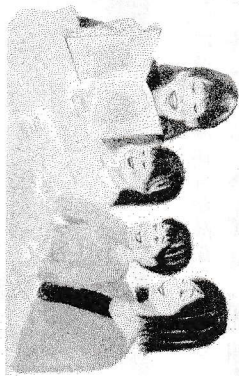
● 協力雇用主
両方を抱える「就労」と「見守り」の両方を実現

犯罪や非行をした人の立ち直りとが大変重要で、協力雇用主は犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万5000事業者がいます。



● 更生保護施設
社会復帰する人の居場所をつくる

自立準備ホーム
刑務所などを出た後、住む場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた支援を行う民間の施設です。更生保護施設は約100施設あります。また、自立準備ホームは約560事業者が登録しています。



● 更生保護女性会
地域のことをほっとけない

犯罪予防活動を行うとともに、青少年の健全育成活動のほか、子育て支援活動、更生保護施設への支援など幅広い活動を行うボランティア団体です。全国に約1万人います。

立ち直りへの 理解を深め見守る

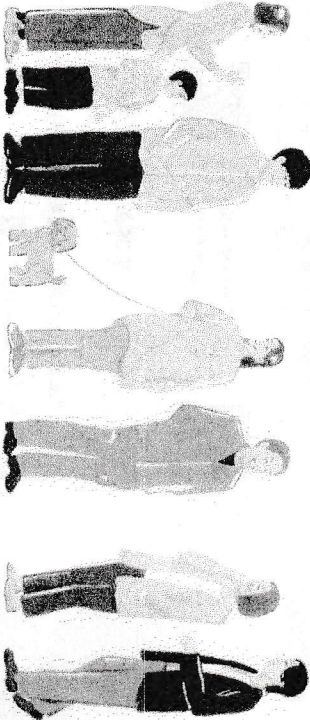
自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちの御理解や更生保護ボランティアの方々の活動への御協力を、よろしく願います。

活動 を 応援する

立ち直り応援基金は、犯罪や非行をした人の立ち直りに賛同してくださる方々の思いと更生保護の活動とを結び、新たな被害者も加害者も生まない安全、安心な地域社会を築くことを目的とした基金です。寄付金は、全国の立ち直り支援活動に大切に使われます。



立ち直れる。その思いをツナグ。
立ち直り応援基金



イベントに 参加する

法務省保護局のホームページやSNS等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。裏面で公式SNSを御紹介しておりますので、ぜひチェックしてみてください。

SNSを
フォロー・拡散

7月の強調月間を中心に、全国各地で「社会を明るくする運動」の様々なイベントや広報活動が行われています。お住まいの地域の活動に、ぜひ御参加ください。

立ち直り支援に、特別な資格や経験は必要ありません。地域で見守る、理解を深める、応援するなど、支援のカタチは様々です。できることから、あなたらしく始めてみませんか。

地域住民で実践する

「社会を明るくする運動」

「社会を明るくする運動」の趣旨

すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

井郷地区での実践の提案

昨年度までの「小中学生の作文発表」から一時離れて

「社会を明るくする運動」の趣旨を踏まえ、犯罪・非行防止と更生支援の理解を深めるとともに、井郷地区コミュニティとして、日常のつながりが子どもの安心を支えているという、既存活動の意味を共有し、地域全体でつながりを育くむ意識を広げることにつなげていく。

第76回「社会を明るくする運動」 井郷地区大会

～更生支援における市民の役割りを学ぶ～

運動の趣旨

すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

第76回運動の統一テーマ

「保護司」をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう

井郷地区コミュニティとして、……

1

本日の内容

(1)「更生保護」の制度と市民の役割について

1. 「社会を明るくする運動」、「更生保護」の理解
2. 「犯罪や非行からの立ち直り」の要点

(2)井郷の子どもたちが

安心して過ごせる地域づくり

1. 問いの設定
2. 調査概要
3. 調査結果
4. 核となる地域課題
5. 学校及び自治区の取組事例
6. まとめと提案

2

(1)「更生保護」の制度と市民の役割について

1. 「社会を明るくする運動」、「更生保護」の理解

・「社会を明るくする運動」の沿革(埼玉県本庄市資料より)

・第76回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ

・更生保護をボランティアで担っている人たち

・～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～
法務省広報ビデオ

事例1 心のリレー 第1部『僕は変わりたい』

事例2 支えてくれた人との出会い～ある少年院出院者の思い～

3

「社会を明るくする運動」の趣旨を踏まえて、更生保護制度と市民の役割を学ぶ。

さらに、そこで得た視点を基にして、井郷地区の子どもたちの育ちを支える、地域住民としての実践取組を考える機会とする。

運動の歴史や内閣総理大臣メッセージを学び、更生保護ボランティアの重要性や事例動画を通して、立ち直り支援の実態について理解する。



沿革



内閣総理大臣
メッセージ



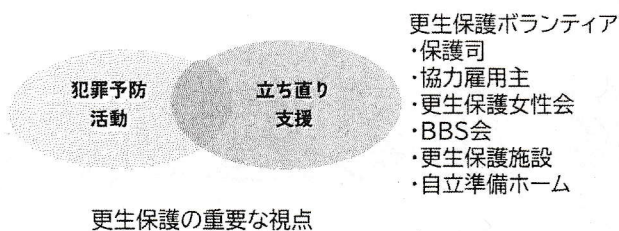
僕は変わりたい



ある少年院
出院者の思い

(1)「更生保護」の制度と市民の役割について

2. 「犯罪や非行からの立ち直り」の要点



「孤立」

4

事例から、立ち直りの過程では「孤立」が大きな課題であり、何気ない言葉が影響すること、日常的なつながりや相談できる関係が支えになることが分かった。

(2)井郷地区の子どもたちが安心して過ごせる地域づくり

1. 問いの設定

子どもたちは孤立していないか？

- ・居場所はあるか
- ・相談できるか
- ・つながりはあるか

5

井郷地区コミュニティ会議 青少年育成委員会として、学びから得た「孤立」という視点で地域課題を具体化するために、井郷地区の子どもたちが安心して過ごせているか、相談できる関係があるか、人とのつながりを感じられるかという問いを立て、実態調査を行うことにした。

(2)井郷地区の子どもたちが安心して過ごせる地域づくり

2. 調査概要

対象 (井郷中学校 2, 3年生) (井郷地区小学校 5, 6年生)

目的 (孤立感・つながり)

「安心できる地域づくり」

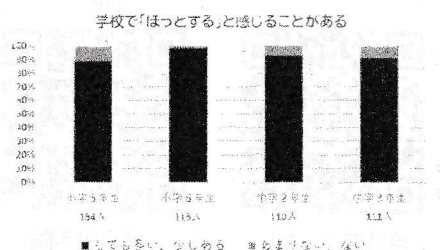
6

井郷地区の小中学生を対象にアンケートを実施し、孤立感や地域とのつながりの実態を把握し、安心できる地域づくりの着眼点を整理した。

(2)井郷地区の子どもたちが安心して過ごせる地域づくり

3. 調査結果

「学校は安全・安心の場」



7

「安心して過ごせる地域づくりアンケート」
井郷地区コミュニティ会議 青少年育成委員会

このアンケートは、みなさんが毎日安心して過ごせる地域づくりのために、正しい答えや間違えた答えというものはありません。あなたの気持ちに正直に答えてください。

例) たくさんある/少しある/あまりない/ない

質問区分

- 学校で「ほっとする」と感じることはありますか？【学校・居場所】
たぐさんある/少しある/あまりない/ない
- 学校で休み時間に一緒に遊ぶ人はいますか？【学校・居場所】
たぐさんいる/少しいる/あまりない/ない
- 学校で「自分のことをわかってくれる人」がいますか？【学校・居場所】
たぐさんある/少しある/あまりない/ない
- 困ったときに話を聞いてくれる人はいますか？【いない】と答えた人は問8へ【相談】
いる/いない
- その人に「助けて」と言いやすいですか？【相談】
とても言いやすい/少し言いやすい/少し言いにくい/言いにくい
- 悲しいときや不安なときに一人で「がまん」することがありますか？【孤立の兆候】
とても多い/少しある/あまりない/ない
- 「どうせわかってもらえない」と感じることはありますか？【孤立の兆候】
とても多い/少しある/あまりない/ない
- 「ひとりぼっちになってきつい」と感じることはありますか？【孤立の兆候】
とても多い/少しある/あまりない/ない
- 安心して過ごせる場所や時間がありますか？【つながり】
学校：とても多い/少しある/あまりない/ない
地域：とても多い/少しある/あまりない/ない
- 「こんな場所があったり、こんな人がいたらいいな」と思うことはありますか？
あれば書いてください。

以上です。
ご協力ありがとうございました。

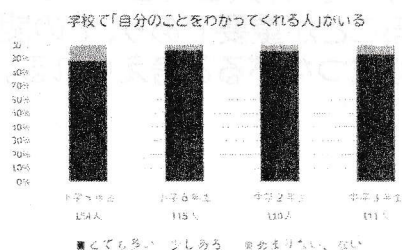
添付資料1

調査から、多くの子どもにとって学校は安心できる場所であり、生活の基盤として一定の安心感があることが分かった。

(2)井郷地区の子どもたちが 安心して過ごせる地域づくり

3. 調査結果

「学校は安全・安心の場」



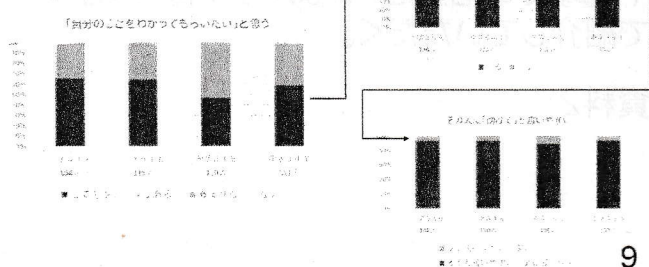
8

その背景には、学校には自分のことを分かってくれる生徒や先生がいる。これは日々を学校で過ごす中で、少しずつ積み重ねられた信頼感によるものと考えられる。

(2)井郷地区の子どもたちが 安心して過ごせる地域づくり

3. 調査結果

「見えていない孤立感」



9

一方で「なお理解してほしい」とも感じていて、相談相手がいない・相談しにくい状況もあり、内面的なつながりの弱さが示された。

(2)井郷地区の子どもたちが 安心して過ごせる地域づくり

3. 調査結果

欲しい場所

「共有スペース」

- ・友達と集まれる場所(ゲームセンターなど)
- ・気軽に遊べる公園(ボール蹴り、草野球など)
- ・ルールを守って安心して過ごせる場所

「個別スペース」

- ・静かで落ち着く場所(図書館など)
- ・一人で過ごせる部屋

「両方を行き来したい」

10

子どもは友達と気軽に過ごせる共有空間と、一人で過ごせる個別空間の両方を求めている、状況に応じて場所が選べるのが望ましい。

(2)井郷地区の子どもたちが 安心して過ごせる地域づくり

3. 調査結果

欲しい人間関係

- ・信頼できる人
- ・見守ってくれる人
- ・話をよく聞いてくれる人

「日常的に寄り添いながら関わる
適度な距離感」

11

求められているのは信頼できる見守りや相談相手であり、過干渉でも無関心でもない、日常的に寄り添う関係性の重要性が示された。

(2)井郷地区の子どもたちが
安心して過ごせる地域づくり

4. 核となる地域課題

「孤立の解消」



視点転換

「つながりの質の向上」

12

孤立の有無だけでなく、人と人とのつながりの「質」に着目することが重要であり、その関係性のあり方が安心につながると考えられる。

(2)井郷地区の子どもたちが
安心して過ごせる地域づくり

5. 学校及び自治区の実践 「つながりが育つ場」

活動名(活動概要)	関係区分				
	顔なじみの関係	近距離・近接した関係	近距離・近接した関係	近距離・近接した関係	その他
井上小 4～6年生で行うクラブ活動の講師 他		○	○		○
四郷小 登下校の見守り	○		○		
井郷中 とよく見守り隊(補助員)	○		○		

13

学校や地域での活動を「つながりが育つ場」の視点で紹介していただく。

添付資料2

活動名(活動概要)	関係区分				
	顔なじみの関係	近距離・近接した関係	近距離・近接した関係	近距離・近接した関係	その他
下土屋 登下校の見守り	○		○		
御船 御船ふれあい祭(出店の運営)		○		○	○
井上 水無瀬川植栽草取り活動				○	○
天道 <八柱神社 天王祭り・秋の例大祭> 運営手伝い 自治会×子供会		○		○	○
高町 子どもたちの「イケオジ」	○	○	○	○	○

14

(2)井郷地区の子どもたちが
安心して過ごせる地域づくり

5. 学校及び自治区の実践

見守り＝軽い接点×日々の繰り返し

協働＝役割を共有する接点×意見交換

指導＝師匠との接点×日々の繰り返し



安心・信頼の蓄積



将来の相談相手の可能性 15

登下校見守りなど多様な活動が顔なじみの関係を生み、日常的な接点が安心や信頼関係を積み重ねることで、将来の相談相手になる人との出会いが期待できる。

(2)井郷地区の子どもたちが
安心して過ごせる地域づくり

5. 学校及び自治区の取組

安心できる関係性の育み＝「日常の積み重ね」

- ・顔を合わせる
- ・見守る
- ・あいさつを交わす
- ・意思を交わす

16

特別な活動でなく日常のあいさつや見守りが安心につながり、その積み重ねが井郷地区の子どもたちが安心して過ごせる地域づくりにつながると期待する。

(3)まとめと提案

『社会を明るくする運動』の趣旨

国民がそれぞれの立場において
力を合わせ
犯罪や非行のない地域社会を築く

↓ 井郷地区では

「つながりを育てる」日常の実践で
犯罪や非行のない地域社会を築く

17

日常のつながりが子どもの安心を支えているという、既存活動に含まれている意義を共有し、地域全体でつながりを育くむ意識を広げることが提案する。

井郷地区コミュニティとして、子どもたちの育ちの環境において「つながりを育くむ」日常的な機会に関わっていきましょう！

「安心して過ごせる地域づくりアンケート」

井郷地区コミュニティ会議 青少年育成委員会

このアンケートは、みなさんが毎日を安心して過ごせる地域づくりのために行います。

正しい答えや間違った答えというものはありません。

あなたの気持ちに近いものを選んでください。

例 たくさんある／少しある／あまりない／ない

1. 学校で「ほっとする」と感じるがありますか

たくさんある／少しある／あまりない／ない

2. 学校で休み時間に一緒に過ごす人はいますか

たくさんいる／少しいる／あまりいない／いない

3. 学校で「自分のことをわかってくれる人」がいますか

たくさんある／少しある／あまりない／ない

4. 困ったときに話を聞いてくれる人はいますか（「いない」と答えた人は問6へ）

いる／いない

5. その人に「助けて」と言いやすいですか

とても言いやすい／少し言いやすい／少し言いにくい／言いにくい

6. 悲しいときや不安なときに一人で「がまん」することがありますか

とても多い／少しある／あまりない／ない

7. 「自分のことをわかってもらいたい」と感じるがありますか

とても多い／少しある／あまりない／ない

8. 「ひとりぼっちになってさみしい」と感じるがありますか

とても多い／少しある／あまりない／ない

9. 安心して過ごせる場所や時間がありますか

学校：とても多い／少しある／あまりない／ない

地域：とても多い／少しある／あまりない／ない

10. 「こんな場所があったり、こんな人がいたらいいな」と思うことがありますか

あれば書いてください。

以上です。

ご協力ありがとうございました。

「つながりが育つ場」活動事例

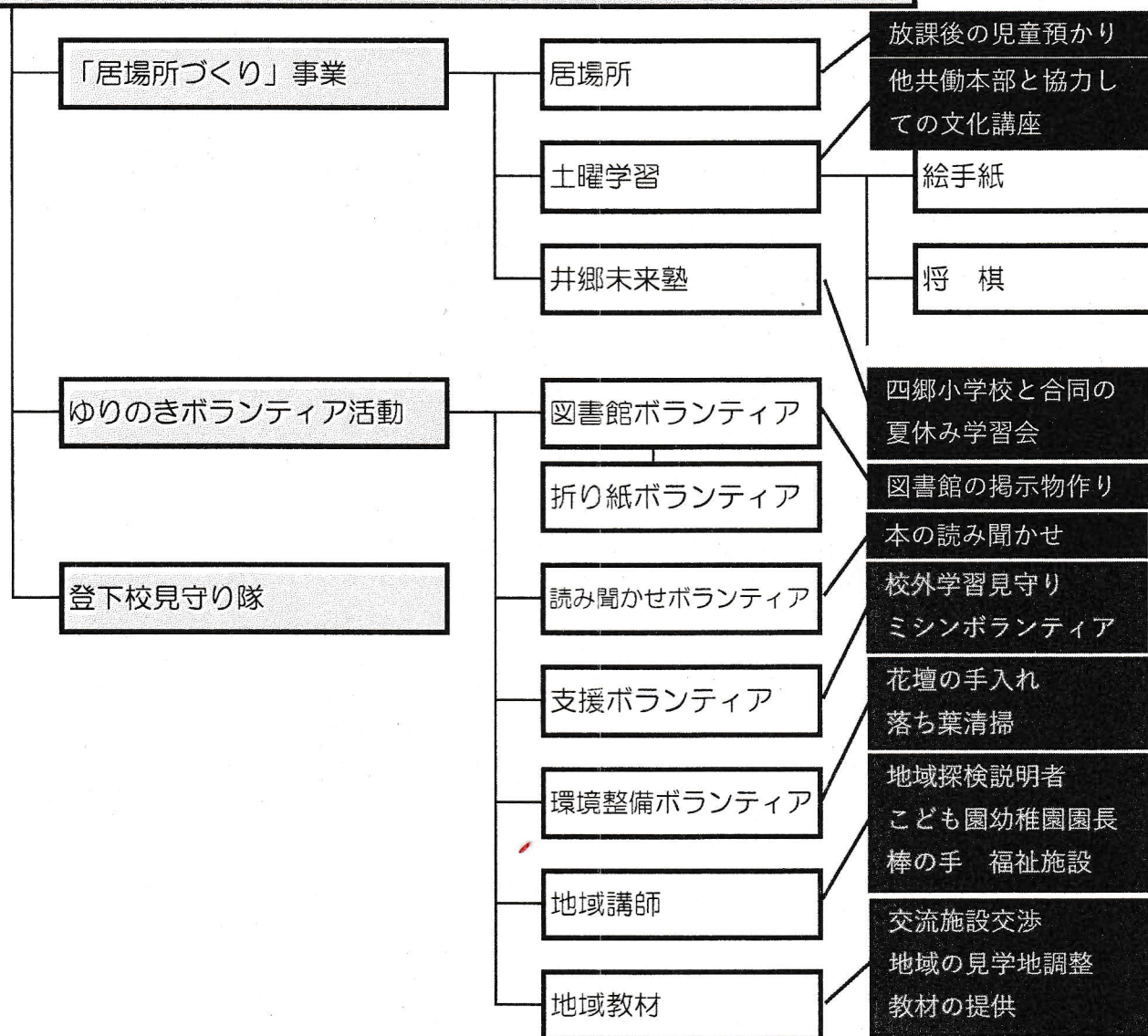
事例	活動名 活動概要	顔 な じ み 関 係	気 軽 に 声 を か け る 関 係	適 度 な 距 離	役 割 を 通 じ た 関 係	世 代 を 越 え た 関 係	そ の 他
井 上 小 学 校	○ 地域コーディネーター 学校と地域を結びつける。地域学校共働本部の行う活動のとりまとめと運営、学校が必要とする地域の情報を提供する。地域学校共働本部の事業の拡大を検討中。今年度から、サポーターズ相談会の実施。ボランティアの地域募集の展開。						裏 方
	居場所 登校日の下校後から午後5時まで児童の預かりを井上小学校で行う。	○					
	図書館ボランティア 井上小学校の図書館の掲示物を作成する。毎週火曜日の午前に活動。(随時募集中)			○			
	読み聞かせボランティア 児童に本や絵本、紙芝居を15分間の読み聞かせを行う。木曜日の8時30分～45分で年間13回行っている。一人数回。			○			
	登下校見守り隊 登下校の見守りで、特に下校時に危険なポイントなどで児童の安全を見守る。(随時募集中)	○					
	校外学習見守り 校外学習において、移動時などで安全を見守る。			○			
	ミシンボランティア 5・6年生の家庭科の授業で、ミシンを使った製作で			○			
	○ 井上JSCクラブ サッカー部 バスケットボール部 ファンファーレ部(吹奏楽部)での指導及び補助を行う。		○				
	○ クラブ活動の講座 4～6年生で行うクラブ活動の講師を行う。 今年度は棒の手クラブを井上棒の手保存会、福祉体験クラブを豊田市社会福祉協議会、無門福祉会、光の家、福寿園、クローバーが行っている。来年度に向け講師募集中。			○			
	児童の手入れ 花壇やプランターへの花の植え込みなどを行う。(現在検討中)			○			
	落ち葉清掃 秋から冬にかけて表庭の落ち葉の片づけを行う。(現在検討中)			○			
四 郷 小 学 校	○ 登下校の見守り	○		○			
	あいさつ運動	○	○				
	JSCクラブの活動(四郷ジュニアスポーツ・カルチャークラブ)			○			
井 郷 中 学 校	○ とよクラ見守り隊(補助員)	○		○			

「つながりが育つ場」活動事例

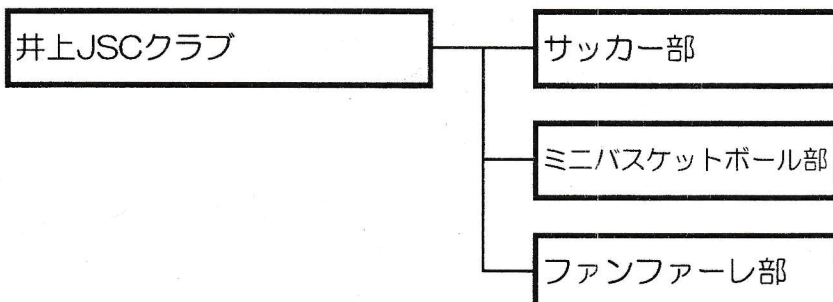
	事例	活動名 活動概要	顔 なじみ 関係	気 軽に 声 を か け る 関 係	適 度 な 距 離	役 割 を 通 じ た 関 係	世 代 を 越 え た 関 係	そ の 他
下 古 屋 自 治 区	○	登下校見守り	○		○			
		<下古屋夏まつり> 出店運営 自治区×子供会		○		○	○	
		<花火大会> 手持ち花火 自治区×ジュニアクラブ		○		○	○	
井 上 自 治 区	○	水無瀬川植栽草取り活動				○	○	
		自治区ふれあい夏祭り		○		○	○	
		敬老祝賀会				○	○	
御 船 自 治 区	○	<盆踊り> 出店の運営 自治区×ジュニアクラブ 踊りの練習および本番への参加 自治区×子供会		○		○	○	
		<御船ふれあい祭> 出店の運営 自治区×ジュニアクラブ ステージ発表 小学生		○		○	○	
		登下校見守り	○		○			
天 道 自 治 区		<登下校見守り> 四郷小ボランティア団体（約60人）が、毎日交差点などに立って見守りと声かけ	○		○			
		<夏祭り盆踊り大会> 実行委員会形式で出店運営 自治区×子供会		○		○	○	
	○	<八柱神社 天王祭り・秋の例大祭> 運営手伝い 自治区×子供会		○		○	○	
		<餅つき大会> 実行委員会形式で運営 自治区×子供会		○		○	○	
		<文化祭> 子どもの作品展示運営 自治区×子供会		○		○	○	
高 町 自 治 区	○	自治区区長として&大人の区民の一人としての子どもたちとの関わり （子どもたちの「イケオジ」）	○	○	○	○	○	

地域の中で育つ井上っ子

井上小学校 地域学校共働本部



地域「わくわく事業」



「とよクラ見守り隊（補助員）」を大募集！！

豊田市立井郷中学校 部活動コーディネーター 小木曾 久人

豊田市立井郷中学校長 今田 良人

令和8年9月以降、学校（教員）に代わって地域の方が指導者になり、豊田市と各学校の地域学校共働本部が運営者となる「とよた地域クラブ活動（とよクラ）」をスタートします。

現在、井郷中学校では、とよクラ完全移行に向けての準備を進めています。

とよクラは、これまでの部活動と同様の種目や活動場所、時間帯で行います。

とよクラの運営は、学校に代わって地域が担うことになります。そのため、保護者のみなさまや地域のみなさまのご支援が不可欠です。

とよクラの活動日には、各種目の技術指導者または補助員（とよクラ見守り隊）が必要ですが、現在、「とよクラ見守り隊（補助員）」がまったく足りていません。このままでは、平日のとよクラの活動ができなくなります。

そこで、保護者のみなさまや地域にお住まいのみなさまによる「とよクラ見守り隊（補助員）」を募集します。

とよクラ見守り隊は、どんな参加の仕方でも大歓迎！

- 技術指導ではなく、活動場所での安全の見守りです。
- 豊田市の職員としての部活動コーディネーターがいますので、安心して参加していただけます。
- ひと月に1回、1週間に1回でもOK
- イスに座って応援をしながらの見守りでもOK
- お子さんの部活動の様子を見学しながらの安全の見守りでもOK
- 小さいお子さん連れでもOK
- 仲のよい方同士でやっていただいてもOK
- 他の中学校では、ご高齢の方も参加していただいています。
- 平日（火・水・金曜日）は午後4時から5時、休日は3時間程度
特に、平日のとよクラ見守り隊を大募集しています！！

謝金として1,200円（1時間）を豊田市よりお支払いします。

説明を聞いてみたい方、参加してもよいとお考えの方は、お気軽に井郷中学校 教頭までご連絡ください。（TEL：45－8222）